

事務事業名	緑化推進支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成02年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	3,599	3,552	3,927
	人件費	2,965	2,960	2,960
目 的	総事業費	6,564	6,512	6,887
市民の緑に対する意識の高揚を図るとともに、緑化を推進します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・グリーンアップセンター内「緑の相談コーナー」に相談員を配置し、市民からの緑に関する質問に答えます。 ・基準を満たす接道部緑化(生垣等)について、現物給付又は設置費用の助成を行います。	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			3,927
	合 計			3,927

3. 活動内容

活動指標1	名称	緑化相談		単位	件
	内容説明	緑化相談件数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	900	900	900
		実 績	874	988	――
活動指標2	名称	生垣設置助成数		単位	件
	内容説明	費用助成、現物給付、ブロック塀撤去助成件数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	4	4	4
		実 績	1	0	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	市民に緑化知識を持ってもらい、身近な場所からの緑化を積極的に推進していきます。 また、緑の相談業務については、ホームページによる利用の啓発など、PRを進めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	緑化推進、緑地保全、緑に関する意識啓発を目的とした事業のため、市が助成を行うなどの関与をする必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	A：十分に成果を上げている。
	B	A	A	今後も緑の相談コーナー、生垣設置助成のPRに努めていきます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	緑化相談については、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託しています。また、生垣設置助成にかかる費用も最低限とし、経費の低減に努めています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	事業にかかる費用の大半は自己負担であり、受益者負担は適正であると言えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民に対して、広報誌やホームページで緑化推進についての情報提供を行うとともに、環境負担軽減にもつながる緑化についての相談に対し、助言を行っています。

事務事業名	緑地保全事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和56年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
要綱に基づく保全緑地対象地区内の山林及びその所有者		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	25,565	31,248	34,406
	人件費	4,448	4,440	4,440
目 的	総事業費	30,013	35,688	38,846
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・保全緑地対象地区内の山林所有者と有償で保全緑地契約を締結し、緑地の管理と保全を行います。 ・必要に応じて緑地を取得します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			34,406
	合 計			34,406
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	保全緑地の賃貸借契約面積	単位 m ²
		内容説明	土地所有者と賃貸借契約をしている面積	
		指標値	30年度	31年度（当該年度）
			予 定	228,059
			実 績	229,007
成 果（効果・予測） 保全緑地区域内における緑地を担保することにより、市民が緑と触れ合える場を確保することができます。	活動指標2	名称	保全緑地内市有地面積	単位 m ²
		内容説明	保全緑地内の市有地面積（みどり基金買取分を含む）	
		指標値	30年度	31年度（当該年度）
			予 定	71,258
			実 績	71,258
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	30年度	31年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
課 題 現在の保全緑地は、地権者のご理解とご協力により保全されていますが、その担保性を高めるため、より効果的な施策を検討していく必要があります。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	30年度	31年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	緑地の減少を防ぐための方策を検討していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	緑の保全のため、私有財産を借り上げることから市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	保全緑地の継続的契約の働きかけと優先度の高い緑地への基金を利用した計画的買収を進める必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	緑地の賃貸借料は固定資産税相当額であり、概ね適正水準にあります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	緑地保全確保のための地権者との賃貸借契約事業であり、対象の選定は公平です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	緑地の管理には多くの市民ボランティアが参加しています。また、緑地確保は地球温暖化対策に役立っています。

事務事業名	保存樹林等支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和48年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
保存樹林、保存生垣、保存樹木として指定要件を有する物件の所有者		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	36,682	30,364	33,411
	人件費	2,817	2,886	2,886
目 的	総事業費	39,499	33,250	36,297
市街化区域内に点在する緑（保存樹林、保存生垣、保存樹木の総称）を保存します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】 ・保存樹林、保存生垣、保存樹木を一定要件のもとに指定し、それぞれの規定に応じて緑化奨励金を支給します。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		855	
	一般財源		32,556	
	合 計		33,411	

3. 活動内容

活動指標1	名称	保存樹林の指定面積			単位	㎡
	内容説明	指定している山林の面積				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	115,006	102,313	86,689	
		実 績	102,313	86,689	―――	
活動指標2	名称	保存生垣の指定箇所数			単位	箇所
	内容説明	指定している生垣数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	176	171	169	
		実 績	171	169	―――	
活動指標3	名称	保存樹木の指定本数			単位	本
	内容説明	指定している樹木数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	38	37	39	
		実 績	37	39	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	当面は現状の事業を継続していきますが、緑の保全を進めるため、支援制度の内容について引き続き広報等により周知を図ります。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	土地の所有者と協定等を締結し、緑地保全のために緑化奨励金を支払うという性質上、市が行う必要性があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	現在保存樹林に指定されている山林を計画的に市民緑地へ移行させる施策を検討する必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	維持管理は所有者が行い、市は土地の固定資産税及び都市計画税相当額程度を所有者に支払い、保全するものであり、適正であるといえます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	条例に基づき、市内に残る貴重な緑地を保全するため、所有者の協力を得て保全協定を締結している事業であり、対象の選定は公平であり適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	土地所有者の協力を得て事業を実施しています。街中の緑を保全することにより、大気の浄化とヒートアイランドの緩和、雨水浸透や防災等の環境負荷軽減に役立っているといえます。

事務事業名	既設公園等大規模改修事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和50年度				設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民			30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）			
		事業費	145,555	176,220	171,348			
		人件費	14,455	19,240	13,320			
目 的		総事業費	160,010	195,460	184,668			
利用者の安全を確保し、利便性を向上させる改修工事を行います。		2年度事業費（予算額）財源内訳						
			国支出金		15,654			
手段、手法【実施手法：直営・委託】			県支出金		0			
			市債		132,100			
			その他		0			
			一般財源		23,594			
			合 計		171,348			
・公園内の老朽化及び破損した遊具、設備等を撤去・新設します。 ・利用者の要望等により、既設公園内に新たな遊具、設備などを設置します。なお、軽微な補修については、維持管理事業において対応しています。		3. 活動内容						
		活動指標 1	名称	改修又は新設した施設数			単位	箇所
			内容説明	1年間に改修・新設した施設数				
			指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
				予 定	9	28	22	
成 果（効果・予測）			実 績	24	36	――		
・公園の安全性が保たれます。 ・公園の機能と利用者の利便性が向上します。		活動指標 2	名称	改修又は新設した遊具等の数			単位	箇所
			内容説明	1年間に改修・新設した遊具等の数				
			指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
				予 定	3	13	15	
					実 績	6	19	――
課 題		活動指標 3	名称	公園施設長寿命化計画に伴い改築した遊具の数			単位	基
			内容説明	1年間に改築した遊具の数				
			指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
				予 定	3	3	3	
					実 績	3	3	――
・整備後約20年が経過した公園が都市公園の約8割を占め、損傷や老朽化など施設の危険性が増大しています。このため、今後は公園施設の長寿命化計画に基づき計画的な遊具等の修繕更新を進める必要があります。 ・子どもたちがのびのびとボール遊びのできる環境の充実が求められています。		活動指標 4	名称				単位	
			内容説明					
			指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
				予 定				
					実 績			――

4. 今後の方針等						
今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・公園施設の長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の修繕、更新を計画的に行い、利用者の安全を確保していきます。 ・使用材料の耐久性、コスト面を考慮しながら、より経費の削減が図れるような改修を心がけ継続していきます。 ・ボール遊びもできる環境を充実させるため、防球ネットの設置箇所を増やしていきます。 【「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園管理者である市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	適正な管理・維持・更新が行われ、常に安全な状態で市民が公園利用をおこなっています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	適正な契約行為により事業費が決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もが自由に利用できることを原則としているため、受益・負担の公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民の要望を取入れた事業実施を行っています。事業実施にあたってはユニバーサルデザインを考慮し、また低公害型の機器等の使用による環境負担軽減に配慮した設計を行っています。

事務事業名	自然観察センター・しらかしのいえ運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成13年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	39	39	39
	人件費	1,483	814	814
目 的	総事業費	1,522	853	853
大和市自然観察センター・しらかしのいえを市民、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団、市の三者で運営します。また市民ボランティアを育成します。 手段、手法【実施手法：直営】 しらかしのいえボランティア協議会の代表、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団の代表、行政の代表の三者の協議により、しらかしのいえを運営するためしらかしのいえ運営委員会を開催します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		39
		合 計		39

活動指標1	名称	運営委員会開催回数		単位	回
	内容説明	しらかしのいえ運営委員会を開催した回数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	6	6	6
		実 績	6	6	---
	活動指標2	名称	講演会開催回数		単位 回
		内容説明	しらかしのいえボランティア会員を対象とした講演会の回数		
			30年度	31年度（当該年度）	2年度
	指標値	予 定	1	1	1
		実 績	1	1	---
活動指標3	活動指標4	名称			単位
		内容説明			
			30年度	31年度（当該年度）	2年度
	指標値	予 定			
		実 績			---
	活動指標4	名称			単位
		内容説明			
			30年度	31年度（当該年度）	2年度
	指標値	予 定			
		実 績			---

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	市民・財団・市の3者で行う事業であり、泉の森の環境保全及びボランティア活動の活性化に向け、今後も3者で連携しながら、取り組んでいきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市民・財団・市の3者で行っている事業であり、市が関与する必要性があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	泉の森における自然環境が保たれています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業にかかる費用については、市民ボランティア向けの研修会等で使われており、事業費は適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	事業にかかる費用については、市民ボランティア向けの研修会等で使われており、対象の選定は公平です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	泉の森の環境保全を保つため、市民ボランティアが活動し、緑地の確保により地球温暖化対策にも役立っています。

事務事業名	ゆとりの森整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成15年度		令和07年度		23年

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	170,270	36,547	25,970
	人件費	12,009	7,400	7,400
目 的	総事業費	182,279	43,947	33,370
ゆとりの森の広々とした空間を活かし、市民にスポーツとレクリエーションの場を提供します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金	0	
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・基本計画、実施計画に基づきスポーツ施設、レクリエーション施設を整備します。		県支出金	0	
		市債	24,000	
		その他	0	
		一般財源	1,970	
		合 計	25,970	

3. 活動内容

活動指標1	名称	整備面積	単位	ha
	内容説明	ゆとりの森整備完了面積（年間）		
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定	0.6	0
		実 績	0.6	0
活動指標2	名称	整備進捗率	単位	%
	内容説明	累計整備進捗率（整備済み面積÷計画面積×100）		
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定	88	91
		実 績	88	91
活動指標3	名称		単位	
	内容説明			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
活動指標4	名称		単位	
	内容説明			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	利用者に喜ばれるような公園にできるよう、事業内容を見直しながら整備を進めてまいります。					
	【「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園整備は、公園管理者である市が関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	公園施設の整備事業は、年次計画通り順次進捗しています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	適正な契約事務により、事業費が決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	公園施設は原則として市民の誰しものが自由に利用できるものであり、受益・負担の公平性は保たれています。また一部の施設は、その特性から専用利用となってしまうため、有料公園施設に位置付け、自己負担として適正な利用料を徴収しています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ユニバーサルデザインや環境負担軽減に配慮した設計を行っています。

事務事業名	ゆとりの森管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		地方自治法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成21年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
大和ゆとりの森を利用する市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	54,268	57,997	60,748
	人件費	4,081	7,209	4,989
目 的	総事業費	58,349	65,206	65,737
ゆとりの森をスポーツとレクリエーションの場として、安全で快適に利用できるよう管理運営します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：指定管理】 指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		9,999
		一般財源		50,749
		合 計		60,748

3. 活動内容

活動指標1	名称	管理日数		単位	日
	内容説明	ゆとりの森の管理日数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	365	366	365
		実 績	365	366	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	II：見直しのうえで継続
	引き続き指定管理により、ゆとりの森の管理運営を行います。（指定管理期間 令和2年度から令和6年度までの5年間）					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	都市公園法の規定により、都市公園の管理者は市となっています。指定管理者制度を導入していますが、全ての管理権限を委ねることはできません。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	指定管理者制度を導入して、経費の節減を図るとともに、市民サービスにおいては質の向上を目指します。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	指定管理者制度を導入して、経費の節減を図っています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	一部の施設については、その特性上、専用利用となってしまうことから、有料公園施設に位置付け、自己負担分として適正な利用料金を徴収しています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ホームページなどで情報を提供するとともに、指定管理者の自主事業では、市民参加が行われています。

事務事業名	大規模緑地整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		環境を守り育てる			
	めざす成果		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称					
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	平成21年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	168	1,158	2,152
	人件費	1,112	1,480	1,480
目 的	総事業費	1,280	2,638	3,632
市内に残る貴重な資産である大規模緑地を、将来にわたって保全していくための整備を進めます。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			2,152
	合 計			2,152

手段、手法【実施手法：直営・委託】 用地買収、賃貸借契約、市民緑地、借地公園等の手段を効果的に組み合わせて、緑地を確保していきます。	活動指標1	名称	大規模緑地内の市所有緑地等面積		単位	h a
		内容説明	将来にわたって永続的に保全が可能な形態になった緑地の面積			
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
			予 定	26.2	26.2	26.2
			実 績	26.2	26.2	――
成 果（効果・予測） 市内に残された貴重な緑地が将来にわたって保全され、多様な生物の生息場所やヒートアイランド現象の緩和を図れるとともに、市民の憩いの場として利用できます。	活動指標2	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
			予 定			
			実 績			――
課 題 地権者のご理解ご協力が必要です。 長期間にわたる事業のため、優先順位の低い緑地の、当面の保全策が必要です。	活動指標3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
			予 定			
			実 績			――
	活動指標4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
			予 定			
			実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	前年に引き続き土地所有者と用地買収、賃貸借契約の継続のため協議をしています。また、用地買収を進めるため、国や県の制度の導入の可能性について関係機関と協議を進めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	長期にわたって、大規模緑地の保全を図るため、市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	土地所有者の意向確認を行いながら、用地交渉に繋げていきます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	用地交渉に伴い測量費を計上しており、事業費は概ね適正な水準にあります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市の緑の拠点となる大規模緑地の保全を図るための費用負担であり、概ね適正な水準にあります。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	緑地確保は地球温暖化対策に役立っています。

事務事業名	街区公園等整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）	
		事業費	497	0	137,766	
		人件費	3,855	8,510	7,400	
目 的		総事業費	4,352	8,510	145,166	
周辺住民に憩いや遊びの場を提供します。		2年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金			63,810	
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・新たに公園用地として確保した市有地や借用地を、法令に基づき、街区公園や緑の広場として整備します。		県支出金			0	
		市債			65,000	
		その他			0	
		一般財源			8,956	
		合 計			137,766	
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	公園整備面積			単位	ha
	内容説明	公園整備面積（年間）				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	0.2	0.17	0.98	
		実 績	0.52	0	――	
活動指標 2	名称	公園整備進捗率			単位	%
	内容説明	進捗率（年間の整備公園数÷計画整備公園数×100）				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	100	100	100	
		実 績	100	100	――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
・本市の公園整備は、大和市緑の基本計画に掲げる一人当たりの公園面積の目標値を大きく下回っているため、計画的に整備を進める必要があります。 ・また、コミュニティ形成や災害時の避難場所等の拠点として重要な役割を果たす街区公園は、地区によりバラツキが生じないように適正に配置する必要があります。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	令和元年度から2年度での継続事業として上草柳の最終処分場跡地における公園の新設整備に着工しました。 。令和2年度も継続して公園の整備を進めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園整備は、公園管理者である市が関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	公園施設の整備事業が、年次計画通り順次進捗しています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	適正な契約事務により事業費が決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	公園施設は原則として市民の誰しものが自由に利用できるものであり、受益・負担の公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ユニバーサルデザインや環境負担軽減に配慮した設計を行っています。

事務事業名	みどり基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和61年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)		
大和市みどり基金、市民			30年度（決算額）		31年度（決算額）		2年度（予算額）	
		事業費	1,930		1,569		502	
		人件費	1,112		1,110		1,110	
目 的		総事業費	3,042		2,679		1,612	
緑の保全のための基金を適正に管理します。		2年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		501				
		一般財源		1				
		合 計		502				
手段、手法【実施手法：直営】								
・みどり基金を運用します。 ・寄附金の受付を行います。 ・募金活動を行います。								
成 果（効果・予測）								
保全緑地区域内の土地を買収するための資金を確保するとともに、みどり基金の募金活動を通して、市民に対して、緑化の推進及び緑地保全に関する啓発が図れます。		活動指標1	名称	みどり基金募金活動			単位	日
		活動指標1	内容説明	イベント等で募金活動した日数				
			指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
				予 定	4	4	4	
		実 績	4	4	— — —			
活動指標2		名称	基金運用利子			単位	千円	
		内容説明	公債購入等による運用利子					
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度		
			予 定	1,739	1,698	393		
			実 績	1,749	1,473	— — —		
活動指標3		名称				単位		
		内容説明						
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度		
			予 定					
			実 績			— — —		
課 題								
緑地の買い入れを目的とする基金ですが、今後、基金の大幅な増額が望めないことから、運用に際しては安全かつ効率的な運用を、また、買い入れに際しては、その土地の必要性・重要性を精査する必要があります。		活動指標4	名称				単位	
		活動指標4	内容説明					
			指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
				予 定				
		実 績			— — —			

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	効率的なみどり基金の運用を行います。また、各種イベントにおける募金活動などを通じて、更なる緑化推進、緑地保全の啓発を行うとともに、基金のPRも展開していきます。					

事務事業名	公園維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市の管理する公園を利用する市民等		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	286,363	330,224	323,691
	人件費	32,470	14,711	14,711
目 的	総事業費	318,833	344,935	338,402
市民が公園を安全で快適に利用できるように維持管理します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営・委託】 直営、委託等により、適切に維持管理を行います。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		5,623	
	一般財源		318,068	
	合 計		323,691	

3. 活動内容

活動指標1	名称	公園の清掃			単位	回
	内容説明	延べ清掃回数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	21,000	21,000	22,000	
		実 績	21,840	22,641	――	
活動指標2	名称	公園設備の維持補修			単位	回
	内容説明	延べ維持補修回数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	5,000	5,000	5,000	
		実 績	4,820	4,836	――	
活動指標3	名称	公園の管理面積			単位	ha
	内容説明	維持管理した公園の面積				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	156	158	159	
		実 績	158	158	――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅰ：現状のまま継続
	・民間への委託により、維持管理作業・監視業務を行います。 ・昨年に引き続き、維持管理に必要な使用材料の耐久性等を十分に考慮し、さらに安価なものを採用するなど、より経費の削減が図れるよう心がけていきます。					

事務事業名	引地台公園・温水プール・立体駐車場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成03年度				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
引地台温水プール、引地台温水プール立体駐車場、引地台公園を利用する市民等			30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）		
		事業費	147,837	149,305	150,676		
		人件費	2,224	2,220	2,220		
目 的		総事業費	150,061	151,525	152,896		
市民が引地台温水プール、引地台公園等を安全かつ快適に利用できるよう適切に管理運営します。		2年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		4,666			
		一般財源		146,010			
		合 計		150,676			
3. 活動内容							
活動指標 1	名称	年間開場日数				単位	日
	内容説明	1年間に開場した日数（引地台温水プール）					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度		
		予 定	280	280	280		
		実 績	277	249	――		
活動指標 2	名称	1日当たりの入場者数				単位	人
	内容説明	1日平均					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度		
		予 定	750	700	700		
		実 績	668	706	――		
活動指標 3	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度		
		予 定					
		実 績			――		
活動指標 4	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度		
		予 定					
		実 績			――		
課 題							
利用している市民の安全確保が最優先の課題となるため、施設の老朽化に伴う補修が定期的に必要なとなります。							

4. 今後の方針等						
今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	・平成28年度から令和2年度までの5年間についても引き続き指定管理者制度を導入し管理運営を行います。					

事務事業名	多胡記念公園維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成11年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
多胡記念公園（慈緑庵）を利用する市民等		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	5,000	5,021	5,042
	人件費	741	740	740
目 的	総事業費	5,741	5,761	5,782
多胡記念公園を、茶道、華道、書道、句会等、市民に文化教養活動の場を提供できるように管理運営します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
手段、手法【実施手法：指定管理】 指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		0	
	一般財源		5,042	
	合 計		5,042	

3. 活動内容

活動指標1	名称	年間開館日数			単位	日
	内容説明	1年に開館した日数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	300	300	300	
		実 績	308	282	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	・平成28年度から令和2年度までの5年間についても引き続き指定管理者制度を導入し管理運営を行います。 ・現状の利用者は高い年齢層の方が多いため、若い年齢層への利用を促すために学校施設へのPRを継続します。					

事務事業名	緑の広場等管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和49年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	30,213	30,213	30,613
	人件費	3,206	3,222	3,370
目 的	総事業費	33,419	33,435	33,983
公園不足地域において、市民に憩いの場を提供します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 地元住民からの要望及び地元住民による自主的な広場の管理を基本とし、土地所有者から土地を借り上げます。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		30,613
		合 計		30,613

3. 活動内容

活動指標1	名称	緑の広場賃借		単位	件
	内容説明	緑の広場賃借数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	19	19	18
		実 績	19	19	――
活動指標2	名称	ちびっこ広場賃借		単位	件
	内容説明	ちびっこ広場賃借数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	14	14	14
		実 績	14	14	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	街区公園の用地の確保には相当の期間を要するため、その代替として適時緑の広場等を設置し、公園不足地域において憩いの場を提供していきます。					
	緑の広場契約更新時に、借地公園への切り替えを地権者や自治会に働き掛け、了解が得られれば借地公園化を図っていきます。					

事務事業名	緑化ボランティア等育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和59年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象 緑地保全・緑化推進等のボランティア活動に参加している（参加しようとしている）市民団体（公園愛護会等登録団体） 目 的 緑地保全・緑化活動の主役である市民が、ボランティア活動を推進できる環境整備を行います。 手段、手法【実施手法：直営】 公園愛護会等、緑のボランティアに対する支援を行います。	総事業費（単位：千円）			
		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	7,972	7,996	8,314
	人件費	3,269	3,260	3,260
	総事業費	11,241	11,256	11,574
	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		3,193
		一般財源		5,121
		合 計		8,314
3. 活動内容				
活動指標1	名称	ボランティア活動・緑地保全活動実施日数		単位 日
	内容説明	会議活動等に参加した日数		
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定	12	12
		実 績	12	12
活動指標2	名称	公園愛護会活動交付金の交付		単位 団体
	内容説明	交付団体数		
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定	121	124
		実 績	118	121
活動指標3	名称	愛護会花苗配布団体		単位 団体
	内容説明	花苗配布団体数		
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定	123	127
		実 績	123	130
活動指標4	名称			単位
	内容説明			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	市から各愛護会団体に対して花苗を配布し緑化推進を積極的に行っていきます。 公園・緑等の保全には、市民ボランティアの積極的な参加が必要なことから、引き続きボランティア育成事業は継続していきます。					

事務事業名	自然観察センター・しらかしのいえ維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成05年度		事業終了（予定）年度		事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
自然観察センター・しらかしのいえを利用する市民等			30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）	
		事業費	21,282	21,883	22,676	
		人件費	741	740	740	
目 的		総事業費	22,023	22,623	23,416	
しらかしのいえを、緑地保全や自然に関連した事業及び活動を行うための施設として、適切に維持管理します。		2年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		22,676		
		合 計		22,676		
手段、手法【実施手法：委託】						
しらかしのいえの施設管理及び運営管理を委託します。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	年間開館日数			単位	日
	内容説明	1 年間に開館した日数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	300	300	300	
		実 績	308	282	－ － －	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			－ － －	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			－ － －	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			－ － －	
課 題						
今後、施設の老朽化に伴う修繕や設備の更新が必要となります。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	・ 泉の森の管理形態に変更がないことから、この公園の管理を行う当施設においても当分の間委託を継続していきます。					
	・ 施設管理者と連絡を密にし施設老朽化状況を的確に把握することで計画的な維持管理に努めます。					

事務事業名	グリーンアップセンター維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成05年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
グリーンアップセンターを利用する市民等		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	19,918	20,218	21,113
	人件費	741	740	740
目 的	総事業費	20,659	20,958	21,853
グリーンアップセンターを、都市緑化の啓発及び知識の普及を行うための施設として、適切に維持管理します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		21,113
		合 計		21,113
手段、手法【実施手法：委託】				
グリーンアップセンターの施設管理及び運営管理を委託します。				

活動指標1	名称	年間開館数			単位	日
	内容説明	1年間に開館した日数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	300	300	300	
		実 績	308	282	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	・ふれあいの森の管理施設である当施設は、今後も継続して委託を行います。 ・施設管理者と連絡を密にし施設老朽化状況を把握し、計画的な施設修繕に繋がります。					

事務事業名	環境保全団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		環境を守り育てる			
	めざす成果		温室効果ガスの排出量が削減されている			
根拠法令	名 称					
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度 平成03年度		事業終了（予定）年度		事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市内事業者及び市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	162	132	180
	人件費	1,853	1,850	1,850
目 的	総事業費	2,015	1,982	2,030
本市の環境を保全する活動を行っている団体を支援します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・補助金による助成を行います。 ・事務局として支援を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		180
		合 計		180

3. 活動内容

活動指標1	名称	補助金の交付		単位	千円
	内容説明	交付した補助金の額			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	180	180	180
		実 績	162	132	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	大和市の環境を保全していくため、会員企業とともに、様々な事業を展開していきたいと考えています。しかしながら、経済状況の悪化により会員企業数が減少傾向にあることから、今後も引き続き、事業や会員増加策等の運営について検討していきます。					

事務事業名	公園台帳整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和63年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
都市公園及び都市公園とする公園		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	4,393	4,567	9,614
	人件費	1,557	1,554	1,628
目 的	総事業費	5,950	6,121	11,242
都市公園を管理する上で必要な図書を作成します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：委託】 都市公園の公園台帳を整備します。 台帳は、公園の名称・所在・面積・沿革・施設の設置状況及び構造・許可の状況その他を記載した調書並びに図面から構成されます。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		9,614
		合 計		9,614

3. 活動内容

活動指標1	名称	台帳整備	単位	箇所
	内容説明	台帳を整備した公園の箇所		
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定	5	5
		実 績	4	6
活動指標2	名称		単位	
	内容説明			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
活動指標3	名称		単位	
	内容説明			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
活動指標4	名称		単位	
	内容説明			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅰ：現状のまま継続	31年度	Ⅰ：現状のまま継続
	法改正前の旧台帳を現行の台帳に再整備し、公園の管理方式を指定管理へ移行可能な状態にしていきます。 公園用地としての寄附行為があった場合には、公園台帳を整備し、都市公園として位置付けていきます。					

事務事業名	泉の森等公園用地借受事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称					
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	昭和63年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)		
市民			30年度（決算額）		31年度（決算額）		2年度（予算額）	
		事業費	58		41		73	
		人件費	2,169		2,172		2,172	
目 的		総事業費	2,227		2,213		2,245	
泉の森や大和ゆとりの森など、市民に憩いの場を提供します。		2年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		0				
		一般財源		73				
		合 計		73				
手段、手法【実施手法：直営】								
泉の森等公園の国有地、県有地等の継続借受及び新規借入を行います。		3. 活動内容						
		活動指標1	名称	公園用地の取得または借受した公園用地面積			単位	m ²
			内容説明	公園用地の取得または借受した公園用地面積（累積）				
			指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
				予 定	421,310	421,612	435,668	
				実 績	421,612	421,612	――	
活動指標2	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標3	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標4	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度			
		予 定						
		実 績			――			
課 題								
国有地の新規借受に関しては、防衛省や財務省などの関係各機関との調整が必要です。								

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	II：見直しのうえで継続
	令和3年度には緑の広場等管理事業に統合します。					

事務事業名	野生鳥獣保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		
		特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律		
	当該事業の法令等による義務付けの有無		有	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成09年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
野生鳥獣の捕獲・飼養の許可等を受けようとする市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	1,268	1,077	1,533
	人件費	2,224	2,220	2,220
目 的	総事業費	3,492	3,297	3,753
野生鳥獣の保護及び狩猟の適正化を図ることにより、生物多様性を確保します。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】		県支出金		763
		市債		0
		その他		6
		一般財源		764
		合 計		1,533
・申請内容を審査し、野生鳥獣の捕獲を許可します。				
・申請内容を審査し、野生鳥獣の飼養登録を行います。				
・アライグマ、ハクビシン、タイワンリスの捕獲について				

活動指標1	名称	傷病野生鳥獣保護件数			単位	件
	内容説明	怪我をした野生鳥獣を保護した件数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	15	15	15	
		実 績	1	1	――	
活動指標2	名称	野生鳥獣生活被害相談件数			単位	件
	内容説明	野生鳥獣による生活被害について相談を受けた件数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	120	120	120	
		実 績	249	176	――	
活動指標3	名称	有害鳥獣捕獲数			単位	体
	内容説明	生活被害、農業被害に係る有害鳥獣捕獲数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	25	25	25	
		実 績	22	19	――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	野生鳥獣の保護を行うため、捕獲等の許可事業を継続して実施するとともに、特定外来生物対策を行っていきます。また、アライグマ、ハクビシン、タイワンリスによる被害については委託により対応します。なお、生物多様性の観点から野生鳥獣の保護を念頭に置き、傷病鳥獣対応や有害鳥獣捕獲許可申請の審査を厳正に行います。					

事務事業名	緑化施策の企画・調整・推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	都市緑地法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成18年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市内に存する緑と市民、行政及び企業		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	3,681	129	242
	人件費	3,707	3,700	3,700
目 的	総事業費	7,388	3,829	3,942
市内における緑化の推進及び緑の保全に関する計画の進行管理を行います。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・緑の基本計画や環境基本計画に数値的な目標を定め、諸施策の進行を管理します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		50
		一般財源		192
		合 計		242

3. 活動内容

活動指標1	名称	公共施設における緑のカーテンの設置			単位	箇所
	内容説明	公共施設で設置した緑のカーテンの箇所数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	10	10	10	
		実 績	15	16	――	
活動指標2	名称	緑のカーテン作り方教室参加者数			単位	人
	内容説明	緑のカーテン作り方教室への参加者数				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	100	100	100	
		実 績	46	35	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅰ：現状のまま継続
	緑の基本計画、大規模緑地等保全計画の進行管理を行います。 「緑のカーテン」については、今後、公共施設だけでなく一般家庭への普及を目指します。					

事務事業名	(公財) かながわトラストみどり財団に関する事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）		
	事業費	0	0	0		
	人件費	1,112	1,110	1,110		
目 的		総事業費	1,112	1,110	1,110	
本市内にトラスト緑地を指定し緑地保全を図っているかながわトラストみどり財団に協力することにより、本市の緑地保全を図ります。		2年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
手段、手法【実施手法：直営】						
・かながわトラストみどり財団が指定する緑地の契約事務、管理について協力します。 ・かながわトラストみどり財団県央地区推進協議会事務局の一員として同協議会の活動に協力します。		3. 活動内容				
成 果（効果・予測）	活動指標 1	名称	県トラスト事務対応協力件数		単位	件
		内容説明	県トラストの事務に協力した件数			
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
			予 定	10	10	10
			実 績	10	10	— — —
・多くの緑地を保全することができます。 ・保全すべき緑地を判断する上で、神奈川県レベルでの見解を得ることができます。	活動指標 2	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
			予 定			
			実 績			— — —
課 題	活動指標 3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
			予 定			
			実 績			— — —
大和市内のかながわトラストみどり財団が所管する緑地は、泉の森の一部と久田緑地の2箇所ですが、緑地周辺の住民からの管理面の要望については、より速やかな対応が望まれます。	活動指標 4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
			予 定			
			実 績			— — —

4. 今後の方針等					
今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度 I：現状のまま継続
	今後も、かながわトラストみどり財団と協力して、市内の緑地保全を継続して行っています。				

事務事業名	市民緑地設置推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称	都市緑地法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市内に存する一定要件を満たす土地の所有者及び市民			30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）	
		事業費	0	0	0	
		人件費	1,112	1,110	1,110	
目 的		総事業費	1,112	1,110	1,110	
市民が直接自然にふれあう場の確保、公園不足地域の解消、緑の保全活動の場と機会の創出を図ります。		2年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
		手段、手法【実施手法：直営・委託】				
・一定要件を満たす土地所有者からの申し出により市民緑地契約を締結します。						
・地域住民団体に同市民緑地の維持管理を委託します。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	市民緑地箇所数			単位	箇所
	内容説明		市民緑地の箇所数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	2	2	――	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
現状では新規設置が進んでいません。今後は土地所有者からの申し出だけでなく、市からのアプローチにより計画的に実施していく必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度 Ⅱ：見直しのうえで継続
	当面は現状の事業を維持しますが、今後、保存樹林に指定されている山林を計画的に市民緑地へ移行させるなど施策の展開を検討し、更に市民満足度を向上させていきます。				

事務事業名	民間開発への指導事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	2,372	2,368	2,368
目 的	総事業費	2,372	2,368	2,368
開発事業の進展で失われつつある街中の緑をできるだけ確保していきます。	2年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 開発事業者への指導・協力依頼を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

3. 活動内容

活動指標1	名称	開発協議件数		単位	件
	内容説明	緑化、公園設置の指導件数			
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定	70	70	70
		実 績	75	62	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		30年度	31年度（当該年度）	2年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続
	今後も、開発事業者の協力を得て、より多くの公園及び緑地を創出できるよう指導していきます。					

事務事業名	記念樹植樹事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民		30年度（決算額）		31年度（決算額）		2年度（予算額）		
		事業費		0	0	0		
		人件費		148	74	74		
目 的		総事業費		148	74	74		
市民の緑化に関する意識の高揚を図ります。 手段、手法【実施手法：直営】 ・「人生の記念植樹」と銘打って市民から寄附を募り、 公有地等に寄附者名入りの樹名板を付けた木を植えます。		2年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		0				
		一般財源		0				
		合 計		0				
		3. 活動内容						
		活動指標 1	名称	植樹された本数			単位	本
			内容説明	実際に植樹された木の本数				
指標値	30年度		31年度（当該年度）	2年度				
	予 定		0	0	0			
	実 績		0	0	――			
活動指標 2	名称				単位			
	内容説明							
	指標値	30年度		31年度（当該年度）	2年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標 3	名称				単位			
	内容説明							
	指標値	30年度		31年度（当該年度）	2年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標 4	名称				単位			
	内容説明							
	指標値	30年度		31年度（当該年度）	2年度			
		予 定						
		実 績			――			
課 題								
植樹場所を確保する必要があります。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度
	Ⅱ：見直しのうえで継続 植樹場所が、大和ゆとりの森の整備の進捗状況に左右されますが、今後は、植樹本数、植樹場所などの検討を進めていきます。				